

公開講演会『投資環境と政策の展望』開催

このたび、リスク研究センターでは、本学と学術交流協定および学生交流協定を結んでいる東北财经大学（中国・大連市）より、副学長の夏春玉教授そして孫亜鋒副教授のお二人の研究者をお招きし、ご講演をお願いした。

夏先生は、北九州市立大学客員教授、一橋大学客員研究員というご経歴を、また孫先生も横浜国立大学客員研究員のご経験をお持ちで、日本とは深い関わりのあるお二人である。



6月1日は、本学彦根キャンパス 本部棟3階大会議室において、夏先生は『物流の国際化と中国市場戦略』、孫先生には『市場開放と自由競争：WTO加盟と大連経済』と題してご講演を願った。

当日は、70名近くの参加者を得て、阿知羅学部長によるお二人のご紹介、約12分ほどの大連市についてのビデオ観賞後、両先生のご講演を伺った。お二人は日本語にはご堪能であるが、ご講演では、本学院生の洪善子氏に通訳をお願いし、講演後の質疑応答には日本語でお答えいただいた。



6月3日は、滋賀県産業支援プラザ・ジェットロ滋賀情報デスクとの共催で、大津コラボしが21において『投資環境と政策の展望』と題して、貿易・投資セミナーを開催した。30余名のご参加を頂いた講演会の前半は、夏先生のご講演、後半は、シンポジウム形式にて、夏先生、孫先生に加え、現在大連に進出されている日本企業の昭和バルブ製作所代表取締役 中川哲氏と、田中印刷所代表取締役 田中由一氏にもご参加願ひ、大連市の産業招致政策とビジネスの展望についてお話やご意見を伺った。

